

「三豊ふるさと大使」に女優の馬淵英俚可さんが就任



三豊市出身でドラマや映画、舞台など多方面で活躍している女優の馬淵英俚可さんに「三豊ふるさと大使」を委嘱しました。

「三豊ふるさと大使」の制度は、平成23年度に知名度向上プロジェクトの一環として創設し、さまざまな分野で活躍している市出身者を通じて、三豊市の魅力を全国に広く紹介し、知名度の向上を図るものです。馬淵英俚可さんは、俳優・タレントとして活躍中の要潤さん(三野町出身)に続き2人目の大使となります。

9月7日に市役所で行われた委嘱状交付式で横山市長は「全国的に活躍している馬淵さんが三豊のさまざまな物産や地域の美しさ、

特性を全国に発信してくれることは非常に心強いです」とあいさつをし、委嘱状と三豊ふるさと大使の名刺を手渡しました。

馬淵さんは「三豊ふるさと大使として生まれ育ったまちに帰ってこられたことを誇りに思います。三豊市出身の馬淵英俚可として、たくさんの人に三豊市、香川県の魅力を知っていただくきっかけをつくることができればいいなと思います」と就任の喜びと今後の抱負を述べました。

任期は3年で、今後テレビやラジオのほか、来年開催の瀬戸内国際芸術祭2013でも市のPRをしていただきます。



今月の市民力

まぶち えりか
馬淵 英俚可 さん

1979年生まれ 豊中町出身
1992年ホリプロタレントスカウトキャラバンでグランプリに輝き、翌年デビュー。

ドラマ「白線流し」で注目を集め、以降「渡る世間は鬼ばかり」「梅ちゃん先生」のほか、数多くのドラマ、映画、舞台などで幅広く活躍しています。